報道関係者各位

平成24年9月30日

長崎歴史文化博物館
Nagasaki Museum of History and Culture

プレスリリース News

No. 37

日中国交正常化40周年
長崎県・福建省友好県省締結30周年記念

中国福建博物院展
開催・開会式のお知らせ

開催概要

長崎歴史文化博物館では、日中国交正常化40周年および長崎県・福建省友好県省締結30周年を記念し、10月６日（土）より「中国福建博物院展」を開催します。

福建博物院

中国福建博物院と長崎歴史文化博物館は、2010年11月に友好館協定を結び、共同研究や国際フォーラムの開催を通じて交流を深めてまいりました。

本企画展では、福建博物院が所蔵する中国福建省の至宝を紹介するとともに、近年注目を集めている水中考古学の成果、日本各地に伝来する文化遺産を通じて、福建省と長崎県の交流の歴史、さらには日中交流の歴史を紹介します。
ご取材・情報掲載のほど宜しくお願いいたします。

↑黄金に輝くハート型香炉
（国家一級文物・福建博物院）

↑宋黒釉醤斑碗
（国家一級文物・福建博物院）

→高髻拱手女俑（閩国劉華墓）
（国家一級文物・福建博物院）

↑鷹島での元寇沈没船調査と引き上げられた「てつはう」

■期　　間　2012年10月6日(土)～11月30日(金)　※休館日　10月16日（火）、11月20日（火）
■会　　場　3階企画展示室
■開館時間　8:30～19:00(最終入館18:30)

■観 覧 料　《前売券》一般　800円　《当日券》一般　1,000円　※小中高生無料
※税込み　※15人以上の団体、身体障害者手帳、療育手帳、
精神障害者保健福祉手帳持参者および介護者１人は前売り料金
※長崎れきぶん友の会会員は無料

主　　催　長崎歴史文化博物館・福建博物院・長崎県・NIB長崎国際テレビ

中国福建博物院展　展示構成

《序章》

ヴェネチアの商人マルコ･ポーロの旅行記『東方見聞録』には、「海のシルクロード」の拠点として繁栄する福建の姿や、「黄金の島ジパング」そして蒙古襲来についても記されています。まずは『東方見聞録』をひもときながら、世界中の人々を魅了した約700年前の東アジア国際交流の姿を紹介します。

マルコ・ポーロの
「東方見聞録」
西日本初公開！

マルコポーロと共に活躍した
イスラム商人の墓（福建博物院）

《第1章》 福建博物院の至宝

約18万点にのぼる収蔵品の中から「福建博物院の至宝」と呼ぶにふさわしい名品を通じて、中国福建省の歴史と文化を紹介します。山間部が多く平地が少ない福建省は、多くの人が海外へ進出し、やがて海外交流の拠点として繁栄します。また朱子学を大成させた朱熹など多くの文化人を輩出し、学問・芸術など文化の発信地となりました。

麒麟形燻炉（福建博物院）

マリア観音の故郷・徳化窯（福建博物院）

南宋時代の名宰相の肖像画（福建博物院）

《第2章》 海のタイムカプセル

「海のシルクロード」の拠点・福建省には、日本や東南アジアなど近隣諸国だけでなく、遠くヨーロッパやアフリカ、アメリカ大陸からも商品が集まりました。これらの商品は大型の貿易船によってもたらされました。近年、福建省の沖合や長崎県の各地でも海底に眠る沈没船が発見され、引き上げられた品々から、かつての活発な交流や人々の暮らしを知ることができます。

小値賀での沈没船調査

《第3章》 日本に伝世する名宝

山地が多い福建省では、陶磁器は省外へ販売する重要な産業として栄えました。日本では室町時代以降、「唐物」と呼ばれた輸入陶磁器のなかで、建窯の天目・同安窯の青磁・漳州窯の呉州赤絵・華南三彩など福建省で生産された陶磁器は、日本的美意識のなかで茶器として価値を高めました。鎌倉・室町時代には将軍の権威を高める美術品となり、さらに江戸時代の大名たちに伝世されながら、今日まで大切にされています。

←油滴天目茶碗
（重要文化財・九州国立博物館）

→五彩牡丹鳳凰文皿
（東京国立博物館）

《第4章》 中国福建省と長崎県を繋ぐ人々

17世紀、東アジアの貿易が活発となり、福建省と長崎県との間を多くの人々が往来しました。平戸に生まれた鄭成功は、福建省・台湾を拠点に東アジアの海で活躍します。一方、唐船の唯一の貿易港となった長崎には多くの福建出身の商人が集まりました。彼らは故郷の福建省から隠元を長崎へ招きます。隠元の開いた黄檗宗は日本各地へ拡がり、最新の中国文化を日本に伝えました。

←隠元肖像画
（長崎歴史文化博物館）
隠元は弟子や職人と共に渡海、京都宇治で万福寺を開山

→長崎漢画の祖・逸然筆「涅槃図」
（京都・萬福寺）

プレス内覧会・開場式　概要

プレス内覧会

- 開催日　平成24年　**10月5日**（金）
- 時間　**13時30分**～（予定）

開場式

- 開催日　平成24年　**10月5日**（金）
- 時間　受　付 ／ **14時30分**～
  開場式 ／ **15時00分**～
  内覧会 ／ **15時30分**～（予定）
- 会場　1階ホール　（長崎市立山1-1-1）

※開場式終了後に、当館入館者400万人達成（2012年9月12日記録）および長崎県・福建省友好県省締結30周年を記念した植樹式を屋外広場にて開催します。

「中国福建博物院展」 関連イベント・講演会 （10月）

体験講座「篆刻体験」
講師： 馬場覓牛氏
日時： 2012年10月13（土）14:00～15:30
会場： 1階講座室
定員： 20人
参加費： 500円　※要事前申込

参加者募集中

講演会「江戸時代の長崎と福建省」
講　師　： 深瀬公一郎（当館主任研究員）
日　時　： 2012年　10月21日（土）14:00～15:30
会　場　： 1階ホール
定　員　： 140人
入　場　： 無料

ワークショップ「南画体験」
講師： 田中正博氏（長崎青房会長）
日時： 2012年10月28（日）14:00～16:00
会場： 1階講座室
定員： 20人　※対象：小学生以上
参加費： 500円　※要事前申込

参加者募集中

茶会「煎茶の楽しみ」
協力： 文人流知足会
日時： 2012年10月28日（日）①13:30～②14:00～③14:30～④15:00～⑤15:30～
会場： 2階イベントの間　立山亭
定員： 各席30名
茶券： 500円

長崎歴史文化博物館
Nagasaki Museum of History and Culture

〒850-0007　長崎市立山1-1-1
TEL：095-818-8366　　FAX：095-818-8407
担当　教育普及グループ　　広報担当　川口・大石み